



MEET UP CHUBU

Last Update : 2024.12

会社概要

会社名	株式会社フレンドマイクロブ
設立年月日	2017年6月13日
資本金	9,000万円
決算期	3月末
社員数	9名（業務委託・派遣等含む）※2024年8月時点
本店所在地	〒464-0858 名古屋市千種区千種二丁目22番8号 名古屋医工連携インキュベータ104
代表者	代表取締役社長 蟹江純一
創業者・ 取締役会長	堀 克敏 名古屋大学大学院工学研究科生命分子工学専攻 生命システム工学講座分子生命環境プロセス 教授
事業内容	・微生物関連受託研究事業 ・新規微生物ビジネスの開拓 ・油関連環境事業

経営陣



代表取締役社長 蟹江 純一

2013年に名古屋大学にて堀研究室に入り、微生物に関する研究を6年間行い、その後、株式会社フレンドマイクロブに入社し主任研究員として研究開発を行う。2021年に当社代表取締役社長に就任。



取締役会長・創業者 堀 克敏

東京工業大学院総合理工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）、住友化学工業（株）など民間企業研究員、東工大助手、名工大准教授を経て、2011年より名古屋大学大学院工学研究科教授。2017年名古屋大学発ベンチャー「株式会社フレンドマイクロブ」を設立。同社取締役・会長を兼任。

株主

株式会社ジェネシア・ベンチャーズ

豊田合成株式会社

住友商事株式会社

ハウス食品グループイノベーション2号ファンド

※2023年5月 プレシリーズAで2.3億円調達

Prize/受賞・採択

- | | |
|-------|--|
| 2024年 | ・「Aichi Deeptech Launchpad アクセラレーションプログラム」
(研究開発費あり) 採択 |
| 2023年 | ・ J-Startup Central (第4期) 採択
・ 愛知環境賞 名古屋市長賞 受賞
・ 「MUFG ICJ ESGアクセラレーター2023」大賞 受賞
MUFGモルガン・スタンレー賞、JT賞 受賞 |
| 2022年 | ・ GLOW Pitch 最優秀賞 受賞
・ FASTAR DEMODAY みらい創造機構賞 受賞
・ CNBベンチャー大賞 中部経済産業局長賞 受賞
・ 特許庁の2022年度知財アクセラレーションプログラム「IPAS」 採択
・ 三菱UFJ技術育成財団の助成金 採択 |
| 2021年 | ・ 2021年度中小機構主催アクセラレーションプログラム「FASTAR」 採択 |
| 2017年 | ・ 名古屋大学発ベンチャーの認定を受ける |



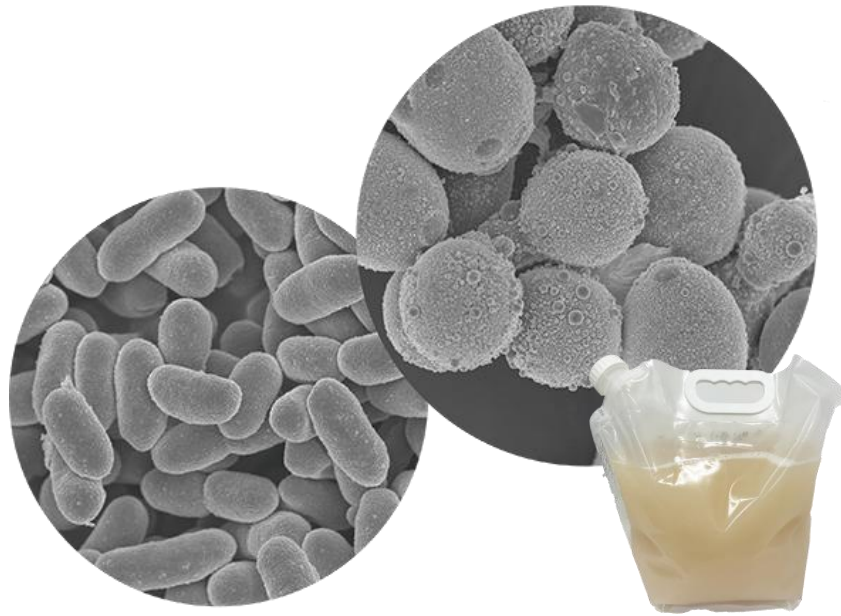
AICHI
Environmental
Award 2023
愛知環境賞



J-Startup
CENTRAL

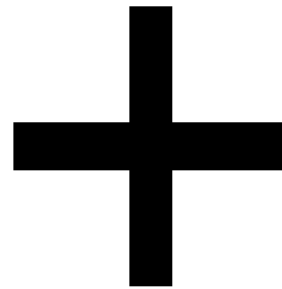
コア技術

当社のコア技術は、**微生物（酵素）**と、その**微生物を工場規模で効率的に生産・増殖し、活性化、機能させるためのバイオリアクター※技術**です。



微生物製剤

Mibiocon
マイビオコン



微生物自動増幅投入装置

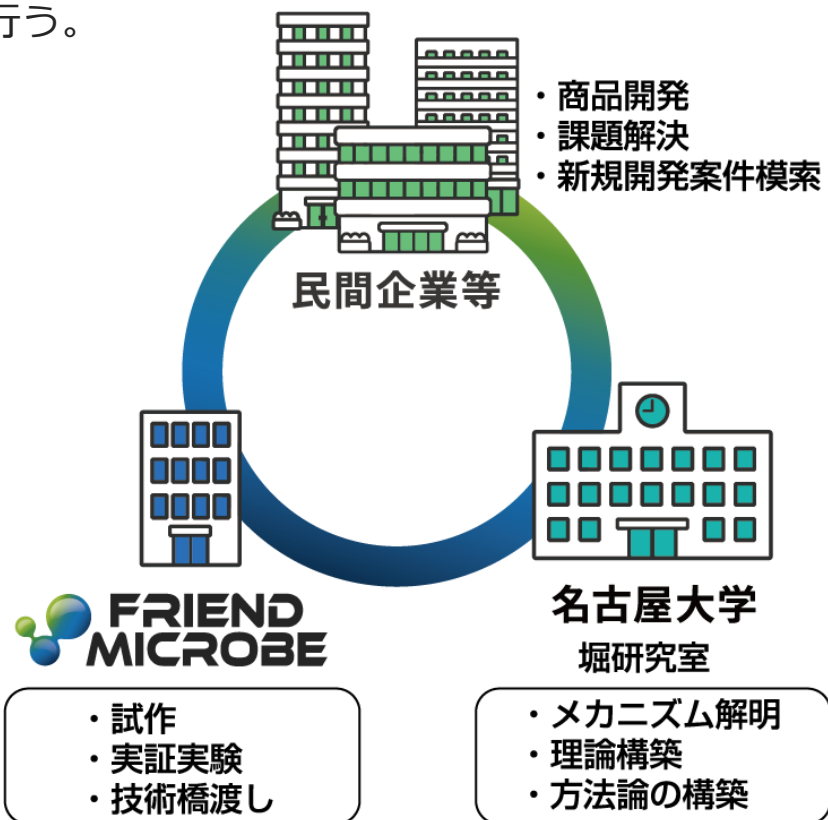
Mbii
マビー

Product & Service

事業紹介

微生物関連 受託研究事業

民間企業等からの委託を受けて、名古屋大学との3者共同研究により、効率的に研究を進める受託研究事業を行う。



油分解事業

圧倒的な油脂分解能力を誇る微生物製剤を用いた、新しい排水中の油脂を分解する技術を、食品や油脂工場に提供。

微生物による排水中の油脂分解処理システム

MbisyS
マビシス

微生物製剤
MiBiocon
マイビオコン

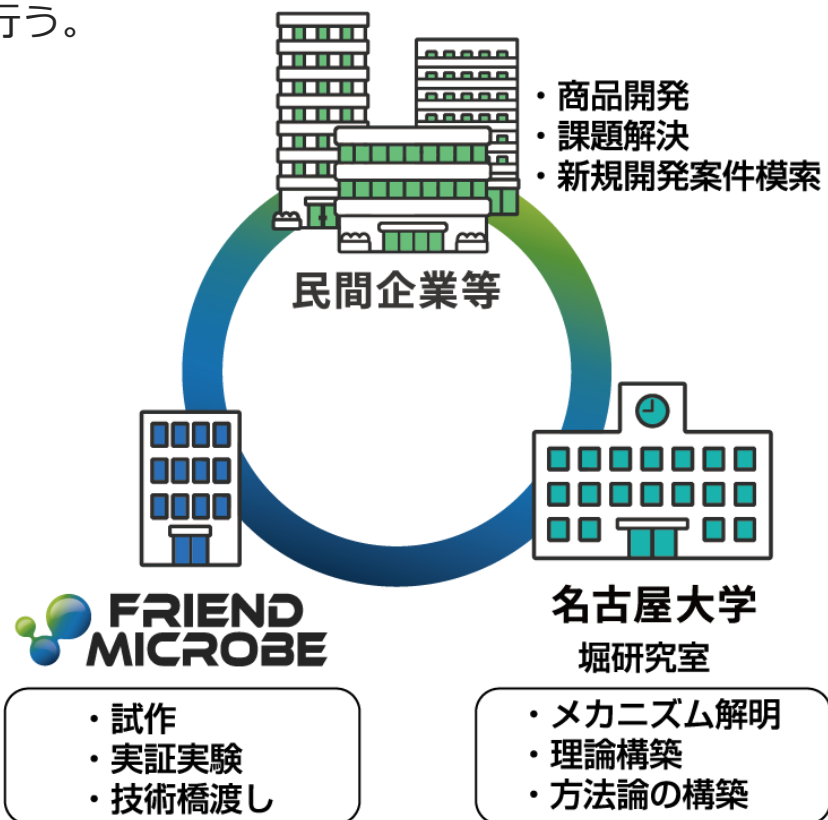
微生物自動増幅投入装置

Mbii
マビー

MbisyS, Mbii, MiBiocon は、(株)フレンドマイクロブの商標です

微生物関連 受託研究事業

民間企業等からの委託を受けて、名古屋大学との3者共同研究により、効率的に研究を進める受託研究事業を行う。



油分解事業

圧倒的な油脂分解能力を誇る微生物製剤を用いた、新しい排水中の油脂を分解する技術を、食品や油脂工場に提供。

微生物による排水中の油脂分解処理システム

MbisyS
マビシス

微生物製剤
MiBiocon
マイビオコン

微生物自動増幅投入装置

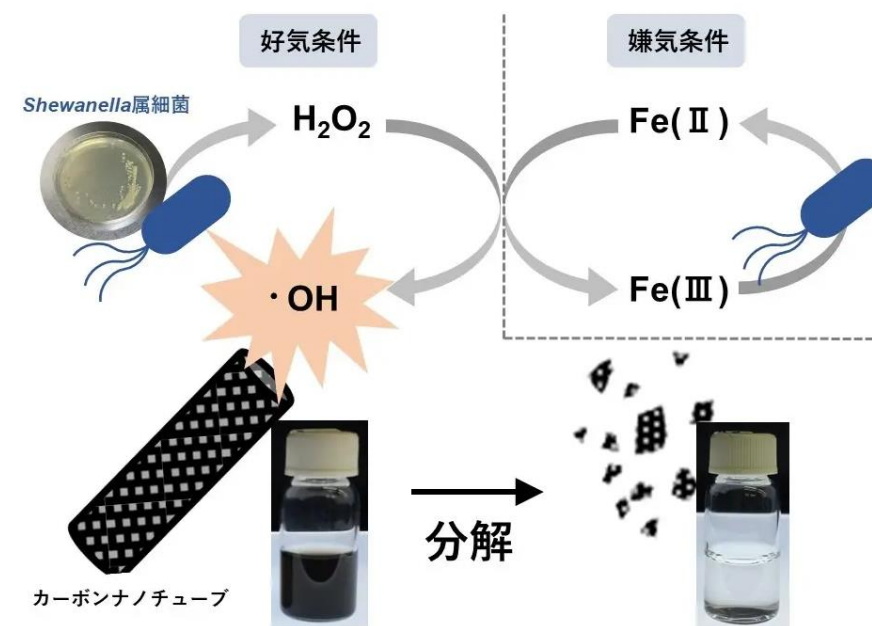
Mbii
マビー

MbisyS, Mbii, MiBiocon は、(株)フレンドマイクロブの商標です

微生物関連 受託研究事業

カーボンナノチューブを微生物で分解する世界初の手法を開発

当社・大手化学メーカー日本ゼオン株式会社および国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院工学研究科の堀 克敏 教授の研究グループは共同研究によって、エレクトロニクスをはじめとする様々な産業分野に大きな便益をもたらすことが期待されているカーボンナノチューブ（CNTs）を微生物によって効率的に分解する新手法を開発しました。（2023年11月）



本研究成果は、2023年11月30日付国際学術雑誌「Frontiers in Microbiology」にオンライン掲載されました。

油分解事業

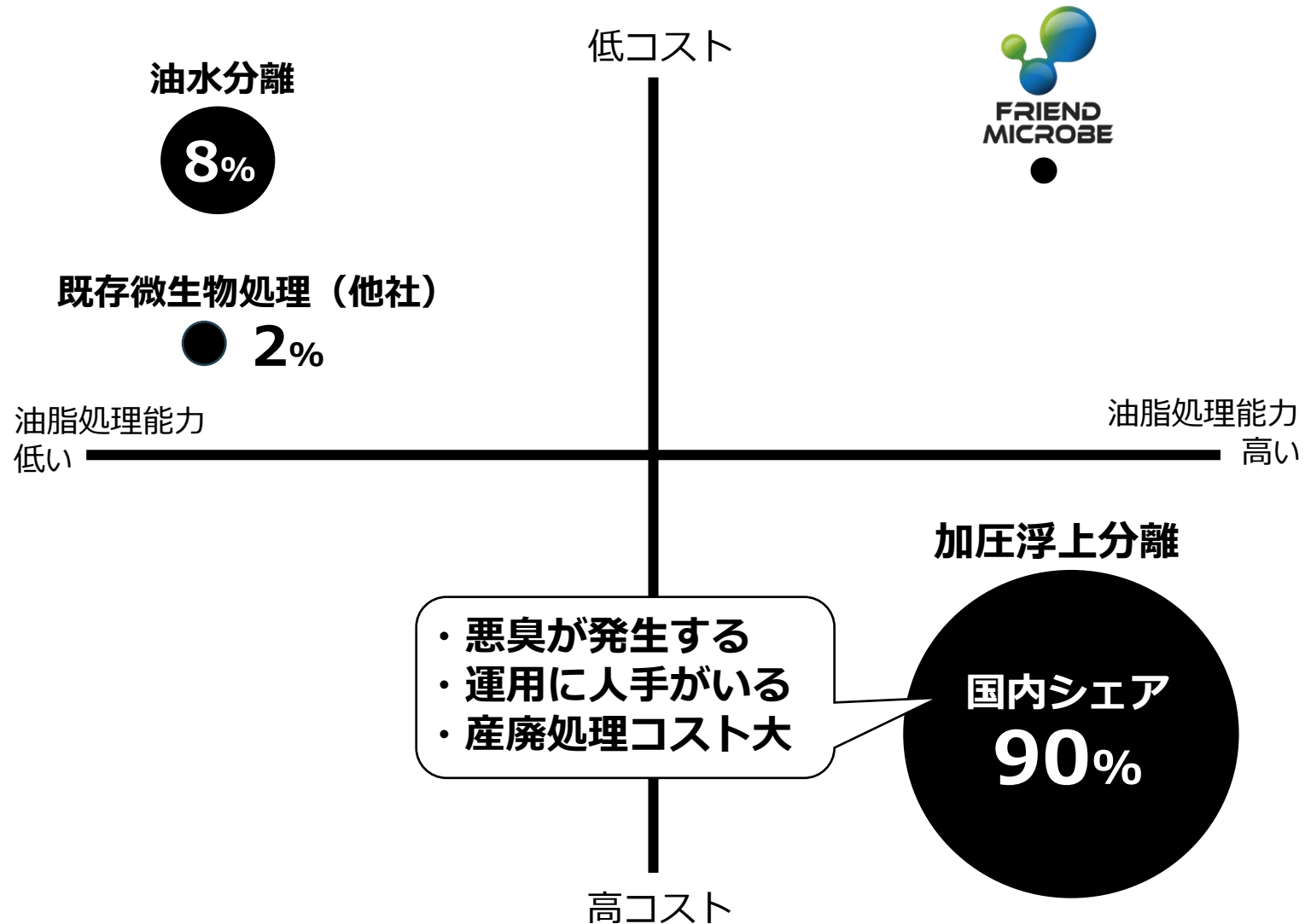
現在のターゲット

食品関連工場の排水処理

ペインポイント

- ・ **「油性廃棄物の処理コスト」の上昇**
- ・ **＜現場問題＞ 油脂を分離する人手不足・悪臭等**
- ・ **環境保全意識の向上**

排水油脂処理システムの勢力図



Future plans

将来事業

事業将来展望

2023年

2024年

2025年

2026年

2027年

2028年

2029年

微生物関連受託研究事業

油分解事業（食品・油脂等大規模工場向け）

油分解事業（食品中小規模工場向け・ビル開発向け飲食店グリストラップ）

油分解事業（鉱物系油大規模工場向け）

受託研究で開発された技術による新たな事業

Mission/ミッション

微生物を活用した革新的資源循環技術を提供する

Vision/ビジョン

微生物で人と環境の調和をもたらし、
安全・安心で夢のある未来社会を拓く企業へ

Value/バリュー

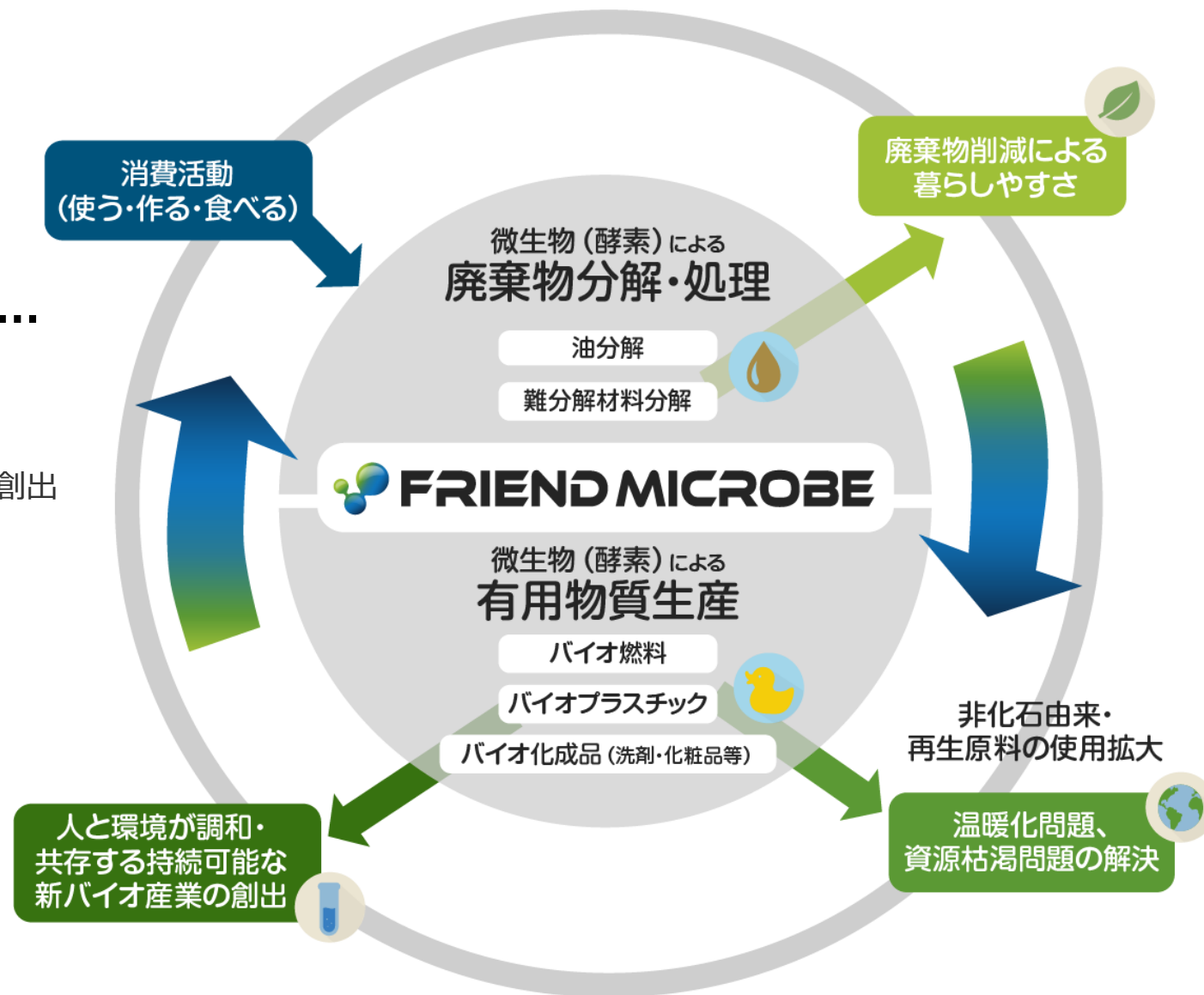
持続可能な循環型社会の実現に貢献する

当社の描くクリーンバイオテクノロジーの将来像

(当社ビジネスモデル)

微生物・酵素による分解・合成反応を元に…

- ①廃棄物削減による環境破壊・汚染防止と生態系の保全
- ②人と環境が調和・共存する持続可能な新バイオ産業の創出
- ③新産業による温暖化問題、資源枯渇問題の解決



“微生物で次の時代の当たり前を作る”
仲間を募集しています！